

スコアをあげるためにまず私がしたことはListeningの強化です。実際1年のときから点数はReadingのほうが低かったのですが、私は文法が苦手なうえ嫌いなので勉強しても続きませんでした。苦手なものより先に伸ばせる方から取りかかろうと考えました。Readingの勉強は、映画や海外ドラマを字幕なしで見た後に日本語字幕で見ることから始め、時間があればさらに英語字幕でみたりして耳を鍛えました。自分の好きな映画なので見ても嫌になりませんし、スピードに慣れて何を言っているのかだいたいいでも聞き取れるようになってくると面白くなってきます。ケーブルテレビなどで流れているアメリカの子供向けのアニメ番組も聞き取りの勉強になるのでビデオに録画して見たりもしました。また、私が聞き取れるようになったと一番実感できると思う方法が留学先の語学学校で毎朝行っていたディクテーションです。ラジオを聞き、可能な限りそれを文字にするというものでした。毎朝その日のニュースが題材なので時事の知識としても役立つし、聞き取った後に答えあわせをするので聞き取れなくてカタカナで書いたものも確認できます。画像も無く、音だけなので文全体を聞き取って文字にするのは非常に難しいです。しかし、ただ書き取るだけでなく理解することを目的にして聞きとるようにすると自然に文がつながってくるのだと思いました。この方法を日本のニュース番組を英語に切り替えて試しました。映画などの会話と違い、1つの文が長いのでとても難しく感じますが随時出てくる画面の文字を読んだりすると少しずつ理解できるようになってきます。何回も出てくる同じ表現や単語でボキャブラリーを増やすこともできるし、Readingはひたすら問題を解きながら文法を覚えていく方法と苦手な長文問題のため、洋雑誌や新聞などできるだけ多くの英文を読むという2つの方法で勉強しました。TOEICの文法だけを集中的に勉強できる問題集で比較的薄いものを選び、その問題集を2回通して解くようにしました。私の場合1回解いただけでは覚えていないので定期的に繰り返しやろうと思いました。厚い問題集はそれだけ中身も濃いのですが、途中で絶対に嫌になってしまうので私は続きませんでした。

次に、読解力をつけるためになるべく英文を読むようにしました。最初は雑誌を選びました。洋書よりも雑誌のほうが短くて読みやすいのと、興味のあるファッション雑誌やゴシップ誌などを選ぶと飽きずに読みきることができると思ったからです。私はよくElle girlを読んでいた。ページの構成や写真も綺麗なので途中で嫌になることなく読むことができます。辞書に載っていないスラング表現が多いのも特徴ですが、文法はわかりやすく書かれていると思います。